

電気通信主任技術者 新版 通信電力テキスト (初版)

正誤表

頁 / 箇所	誤	正
p.15 解答(1)① p.17 上4,5行 p.24 下4行 p.35 解答(2)(vi)⑩ p.48 問8(vi)⑦ p.77 上5行 p.84 解答(2) p.117 問1(1)左上図 p.120 問11(1) p.131 上10行 p.139 下3行	常に完全放電状態にあり, V_2 整流器入力容量 $H^+ + (1/2)O_2 + 2e^-$ 系統連係コンバータ インバータ方式とも呼ばれ, ひずみ波となる	常に完全 <u>充</u> 電状態にあり, V_1 整流器 <u>出</u> 力容量 $2H^+ + (1/2)O_2 + 2e^-$ 系統連係 <u>インバータ</u> <u>コンバータ</u> 方式とも呼ばれ, 矩形波となる
		右下のダイオードの向きが逆です
p.169 問5(1) p.182 上7行 p.209 問4(2)(i) p.238 解答(1) p.241 上7行 p.254 下7行 p.282 例題2(解答)	高調波でパルス幅制御... 負極吸収の原理 $\theta = 1, C = 3,000...$ (オ) - 2H $G = (P \times F_c / r) \times 10^{-3} \text{ [l/h]}$ 362 PS (オ) - 可動鉄心 平均需要電力 = ... = 510 [kW] $Q = P_{02} - P_{01} = P(\tan \theta_1 - \tan \theta_2)$ この問題は交流配線設計の問題です。 線路の抵抗値を R , 長さを M , 断面積を S , 導体の固有抵抗を ρ , ケーブルの断面積定数を K とすると $R = \rho \frac{KM}{S}$ で表される。また三相負荷 電流を I , 電圧降下を V とすると, $I = \frac{V}{\sqrt{3}R}$ この両式から $S = \frac{\sqrt{3}I}{V} \cdot \rho KM = \frac{\sqrt{3} \times 300 \times 0.018 \times 1.7 \times 80}{6} = 212 \text{ [mm}^2\text{]}$ したがって適用するケーブルは③である。	高周波でパルス幅制御... 負極(陰極)吸収の原理 $\theta = 1(\theta: \text{温度による容量低下率}$ $25 \text{ では } \theta = 1), C = 3,000...$ (オ) - H_2 $G = (P \times F_c / r) \times 10^3 \text{ [l/h]}$ 36.2 PS (オ) - 電磁 平均需要電力 = ... = <u>450</u> [kW] $Q = \underline{P_{01}} - \underline{P_{02}} = P(\tan \theta_1 - \tan \theta_2)$

お詫びして訂正いたします。